

胃腸 **梅毒**

內科 專門 腸胃 十二指腸 皮膚 淋病 婦人病

平南町 松村病院

電話一七〇七

貸家案内

白銀町 八、八〇〇 勤人向
 仲御町 四、〇〇〇 勤人向
 同 一、〇〇〇 勤人向
 同 五、〇〇〇 勤人向
 同 四、〇〇〇 勤人向
 同 八、〇〇〇 勤人向
 同 八、〇〇〇 勤人向
 同 六、〇〇〇 勤人向
 同 五、〇〇〇 勤人向
 同 五、〇〇〇 勤人向
 同 五、〇〇〇 勤人向
 同 七、〇〇〇 勤人向
 同 八、〇〇〇 勤人向
 同 六、〇〇〇 勤人向
 同 八、〇〇〇 勤人向
 同 六、〇〇〇 勤人向
 同 八、〇〇〇 勤人向

加藤営業所 白銀(電話三二〇番)

十字屋洋服店

平停車場前通り

新形洋服が いろいろな 揃ひました

値段は昨年より二割安
 立襟上下 拾圓ヨリ
 春廣三組 十三圓五十
 オーパ 六七圓位ヨ

其地變つた新形洋服を澤山 取揃ひしてあります

東京大歌舞伎

市川壽美十郎 大一座
 市川海老藏

初日狂言

一、江戸の花 角力の達引全通し
 二、大江山四童児頼光御殿
 ちよこちよこ平、使より七役早替り
 三、山門五三の桐石川五右衛門
 四、繪本太功記厄ヶ崎の場

當る七日午後四時開演 花火合圖致升

平劇場

第廿二回 産婆生徒募集

一 募集人員 若干名
 一 修業年限 兩科通シテ一ケ年
 一 申込期間 本年四月八日迄

平町南町(電話三〇七番)

平産婆學校
 校長 清野キヨ

ユラノスケの レツテル あるものは 一升の空瓶五本

銘酒一升瓶一本と 交換いたします

平町 永山酒造店小賣部
 電話二〇七番

原齒科醫院

平町土橋通り電話三二番

常盤新聞

日刊

發行兼編輯人 川崎文治

本社 下同番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷部

定額 一月 五元
 三ヶ月 十三元
 半年 二十五元
 一年 五十元

零售 每份 一角五分

郵政掛號 第三種郵便物認可

昭和三年三月八日

松竹のスター好みのクレーヤモス着尺

陳列場に現る

期日三月一日より十日間

御買上金貳圓以上
 福引券一枚進呈

期日三月一日より七日間

中野呉服店
 平町三丁目(電話六七番)

外務社員招聘

廿五歳以上の男女よして経験有無を不問
 奮闘の方を求む

個定給の外多大の歩合あり
 御希望の方は履歴書持参來談を乞ふ

仁壽生命保險株式會社

平監督所
 福島縣平町字仲町二

御用命は

お値段と品質で 御満足を得る

毛織物

平町 三五三
 電話 三五三

學生帽子
 學生カバン
 學生洋服

森白甫
 東京市神田區佐久間町四ノ七

近來福島縣下及茨城縣下に於て荒木十畝
 門下帝展係森白畝若くは森勇と稱する者
 小生名儀を欺稱して繪畫を揮毫し又は販
 布し居るも右者全然荒木十畝先生門下に
 非ず小生とも何等關係なき者に付此段廣
 告候也

昭和三年三月五日

森白甫

父松次郎儀 今朝磐城中等學校に 出勤の處腦溢血のため醫師の手當も 其いままなく八時三十分死去致し候 間此段辱知各位に御通知申上候 追て葬送儀は本月九日午後二時當町明賢 寺にて佛式を以て相替み可申候 昭和三年三月六日

友人總代 中根正二 唐土齊治 親戚一治 磐城中等學校同窓會

着 ナフトール
 着 尺宅スリン
 模様 銘仙

平町 龜田屋
 電話 五五七

陸屋根 工學 請負 日建商會

地下室 請負 味岡子之松

便利瓦 販賣

平町田町廿五(電話五二六番)

美味 評判 味の平

平町細屋町(縣社通り)

オの部電話四六〇番

伊東知事昨夜來 發電所側と折衝

平町側は結果如何を待つ けふ午後三時に回答

昨報伊東本縣知事は警中學校の卒業式に臨席旁々大瀧發電所問題解決の鍵を握つて昨日午後七時半驛に到着直ちに自動車を駈つて宿舎に子亭に入り

先着の

中川土木課長と種々打合せあり發電所設置側の栗原其他の諸氏と會見解決案を示した爲め設置側は本日午後二時迄に協議を遂げて返答すべきを約し引取つた、是れが爲め縣知事は本日午後一時迄に平町水道委員會に會社側を承服せしめた最後の

平水道

の位置を五十尺高めて水せしむべき案を根本とし平町水道の権利を保護すると共に害害を來さざる條件を具備したものであるといふ

斷案を

報告すべき

開國悲史を彩る

平城跡に修復の議

星移り變る幾十年

半町の舊城跡即ち平城の殘影は全くあられ果て、年と共に崩れ殊に近年同町の膨脹が漸く城跡に延びて城壁は破壊されるは埋つめられて寶曆六年五月井上河内守利容の轉封に代る安藤對島守信成累代の史蹟地勝は悉くまつ殺されんとしつゝあるを自撃し最近町内有志の間にて城跡の一角だけなり舊態を保存し隣藩相馬中村城や二本松、會津、白河、仙台、秋田、米澤、山形、盛岡等のそれに倣ひ

町有として市民の遊園地に充てようとの計畫が起り先年藩主信正の老中當時多事多端なる外交に當つて樺太の管理並に小笠原島の失はればりし威大なる功蹟を顯彰すべく公園園に銅像を建設したる平安會とも力を併せ此實現に奔走することになつたが城中に舊態を止むるものは白蛇堀の裏門及本丸城樓の石垣其他僅かに二三に過ぎない

天測の航海法 本縣

水産會では遠洋漁業の發達をはかる目的から大日本水産會の戸田技師を招聘し天測航海法の講習會を六日から一週間に亘り江名濱町において同講習會を開催する

春に多い性的犯罪

炭礦の風紀が何しつか

村落にまで延びて

萬物が發溼潤たる生氣に躍動する春になつて一番多いのは性的犯罪で殊に斯うした犯罪が多い炭礦を管内に持つ平署では之が徹底的取締方 について頭

貴金屬荒し

平町に入込む

平署俄に活動

平署署では青田部長初め以下各刑事が五日夕刻以來俄に緊張し重大事件に付き捜査を開始したが仄聞する所によると去る三日夜石城郡植田町字本町福島屋時計店に兇器其他を持つて侵入し同店の家人を脅して百五十圓餘の貴金屬類を強奪し引續いて四日夜は石城郡四ツ倉町字大正堂時計店に又も同様手段で強盜が押入り貴金屬を強奪逃走した犯人があり時計屋専門の賊なので平地方に入込んだ形

事件等

も間斷なく行はれてゐる、またこの炭礦の風紀が何しつか地方村落にまで渡潤して居り花時になると家出する少年少女等も増加して行く平署では選舉の疲れを休める間もな



バタの良否鑑別法

◇香——餘りに強烈なのはよろしくない。
◇味——舌に乗せて直ぐ溶けて後には渣も悪臭さへも

から二つのコイルを相當に離して使つても調整さへ適當ならば感度もよく混信を避けられる

◇香——餘りに強烈なのはよろしくない。
◇味——舌に乗せて直ぐ溶けて後には渣も悪臭さへも

職員室で

中教諭卒倒

ストープの傍ら

平町縣城中學校教諭中根松次郎氏は六月午前八時三十分職員室にてストープに當つて居たが俄に腦溢血を起し卒倒したまゝ、醫師の手當も効なくそのまゝ、絶命した同氏は去る明治四十一年十月同校に赴任以來二十一年間勤続し職員生徒の信望を集めてゐた行年六十二

仙台の放送

意用の爲

アンテナが出来てアースが出来て残るところは聴取用のセットである、ラヂオ聴取上最も必要なものはこの

セットで通信省ではなるべく簡単な方式で聴取せしめてゐる結果仙台放送局は十キロ放送によつて宮城、山形、福島、岩手の各縣下の聴取者の大部分を鑛石で聞かせやうといふのである

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十

◇先づ仙台を中心にして七十